

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	9
サポートクラス	セージ	Lv.1:	サモナー	性別	女
称号クラス				年齢	17
種族	エルダナーン			境遇	没落
出自(効果)	王侯貴族			目標	名誉

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	7	8	9	24	19	18	7
ボーナス	2	2	3	8	6	6	2
クラス修正	0	0	0	2	2	1	1
他修正							
能力値	2	2	3	10	8	7	3

HP	66
MP	102
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	フォースワンド	至近	-1	11	0	0	0	0	0
左手									
頭部	メイジハット					2			
胴部	イレイションローブ				-2	2	-2	-2	-3
補助	マント					1			
装身具	グリモア								
能力値			2	0	3	0	7	11	7
スキル								2	3
その他									
総計(右)			1	11					
総計(左)			2	0	1	5	5	11	7
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	8			8	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	8			8	+ 2 d
エネミー識別	10			10	+ 3 d
アイテム鑑定	10			10	+ 2 d
魔術判定	10			10	+ 3 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	2			2	+ d

所持品	
ベルトポーチ	
ポーションホルダー	
MPポーション*5	
HPポーション*3	
野菜*5	
バックパック	
使い魔(知力)	

現在重量: 11  
 最大重量: 12  
 所持金: 1607  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
イモータリティ	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 《トリビアリスト》を取得する								
マジシャンズマイト	5	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果: 魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。								
トリビアリスト	1	6	判定直前		自身	自動成功	シーン1回	
効果: 判定の直前に使用。その判定を【知力】判定で代用する								
コンセントレイション	1		パッシブ		自身			
効果: 魔術判定+1D								
マジックフォージ	3	3	DR直前					
効果: ダメージ増加。その攻撃のダメージに+SL*2D								
サモン・リヴァイアサン	1	8	メジャー	20m	範囲(選択)	魔術判定		
効果: 魔法攻撃を行う。2d(無)属性+HP1点以上ダメージで[スリップ]を与える								
フォースプリンガー	5		パッシブ		自身			
効果: <無>属性魔法のダメージに+SL*4する								
ファミリア	1		アイテム		自身			
効果: 使い魔をSL個獲得。								
ガーディアン	1		DR直後	20m	単体	自動成功	使い魔	
効果: ダメージ軽減。対象が受けるダメージ-CL*5								
ブーストマジック	1	5	マイナー		自身	自動成功		
効果: 魔法攻撃のダメージ+【感知】								
リゼントメント	1		効果参照		自身	自動成功		
効果: 対象を単体に変更、ダメージ+CL*10								
リバーサル	3	10	判定直後	20m	単体	自動成功	シーン1回	
効果: 対象が行った判定の直後に使用する。その判定の達成値に-[SL*3](最低1)する。このスキルはあなたを対象に使用できない								
エンサイクロペディア	1		セットアップ		自身	自動成功		
効果: セットアップでエネミー識別可能								
オフENSIVEセンス	1		パッシブ		自身			
効果: 魔法攻撃のダメージに+3する								
コンコードダンス	1		パッシブ		自身			
効果: 対象:場面、射程:視界すべての対象にエネミー識別可能。判定は1回								

「まずは、お手並み拝見とさせてもらおう」  
 「はあ……あの人の自由さ加減にはいつも困らせられる。困りはするんだが……慣れてる自分もいるのが怖いな」  
 「力は貸す。これから此処(第二生徒会)でやっていくんだっつたらお互い多少の連携が取れたほうが効率がいい、だろ？」

性格は生真面目に近い方で振り回されやすい感じをイメージ。振り回されることには慣れているので、受け入れがちで難しそうなお顔をしがちだが、可愛いものが好きという普段からは想像もできない一面がある。

グランフェルデン出身の貴族の1つだった、ファーベルク家の長女。現在の家族構成は父、母、ルシア、妹、弟の5人。古くから優秀な魔術師を輩出してきた一族であり、ルシアもその一族の生まれとして恥じない才能の持ち主だった。しかし、8年前派閥の違う貴族たちの謀略によって、公的な立場を追われ、失脚に追いやられ今までの生活を捨て、現在家族はグランフェルデンを離れた街で暮らしている。

しかし、尊敬している両親が言われぬ罪をかぶせられ王都から離れざるを得なくなったことはルシアにとっては認めがたく、いつかまた両親が、家族が堂々と王都に足を踏み入れられるように家を再興させたいと考え、エリンのさまざまな学問が学べる学術都市があると耳に挟んでレリクスへと入学を決め、今に至る。

レリクスに入学し、得意としていた魔術の腕を高めつつ、エリンの学問を学べる《百花繚乱》に所属しているのは、権謀術数が渦巻くTSRはまだ未熟な自分では扱われてしまうのがせいぜいと思っているのと、望む専攻ではないこと。加えて実力主義の《百花繚乱》が分かりやすいというのもあったため。男尊の傾向が強い《百花繚乱》の生徒会《桜花》に女性ながら所属できているのは実力とソウジロウに目をつけられたから。

